

総合特別区域評価・調査検討会における評価結果の概要(平成28年度)

2. 分野等別状況 (2)地域活性化総合特区 ⑥まちづくり等分野(2/3)

	評価区分(※)	総合評価 (IとIIとIIIを1:1:2の割合で計算)	I	II	III	総合評価に係る専門家所見(主なもの)
			目標に向けた取組の進捗	支援措置の活用と地域独自の取組の状況	取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決	
ふじのくに防災減災・地域成長モデル総合特区(静岡県)	正	4.4	4.5 <u>進捗度</u> ・防災・減災機能の充実・強化 75% ・地域資源を活用した新しい産業の創出・集積 130% ・新しいライフスタイルの実現の場の創出 172% ・暮らしを支える基盤の整備 96%	4.4 <u>規制の特例等</u> ・土地利用規制に関する国との一括事前協議制度の創設 等 <u>財政支援等</u> ・多層的な地域連携軸の形成モデル事業 等 <u>地域独自の取組</u> ・緊急地震・津波対策交付金 等	4.3	<ul style="list-style-type: none"> ・新産業創出や移住促進は大きな成果がみられる。県独自の推進制度の創設、規制緩和や条例制定、支援体制強化など、多面的な取り組みの効果が出ており、さらに県内各地に拡大している点が評価できる。 ・地域住民、関係者との合意達成に向けた努力は認められるが、合意の難しさ、達成の不確実性に、より大きな注意が払われるべきであった。 ・本特区の目指す防災減災、地域成長の取組は個々で進行しているように思われるため、廃校や道の駅なども防災拠点としての活用を考えるなど、各事業の関連性を高めて相互効果を促すことも可能な段階であると感じる。

※「正」とは平成28年3月末までに計画が認定された地区の評価、「準」とは平成28年3月末時点では計画が認定されていない地区の評価を意味する。